

【概要】

2018年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【民間住宅ローン利用予定者編】(第1回)

I 調査の概要

今後5年以内に住宅を取得する計画があり、かつ、民間住宅ローンを利用する予定がある方を対象に、希望する住宅ローンの金利タイプ、住宅取得に向けた意識や行動などについて、インターネットによるアンケート調査を実施し、その結果を取りまとめたものです。

(参考) 調査時期:2018年10月3日～10月11日、回答数:1,500件

II 調査結果の主なポイント

※< >は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 利用予定の金利タイプは、「変動型」「固定機関選択型」の希望割合が減少、「全期間固定型」の希望割合が増加 <p. 2>

- ・「変動型」27.5%(前回調査 28.1%)
- ・「固定期間選択型」32.9%(同 35.7%)
- ・「全期間固定型」39.5%(同 36.2%)

2 今後1年間の住宅ローンの金利見通しは、「ほとんど変わらない」「見当がつかない」が減少、「現状よりも上昇する」が増加 <p. 3>

- ・全体では、「ほとんど変わらない」が33.0%(前回調査 36.8%)に、「見当がつかない」が16.7%(同 20.7%)に減少、「現状よりも上昇する」が42.0%(同 34.7%)に増加、この傾向は各金利タイプに共通

3 住宅の買い時意識は、「買い時だと思う」が4割 <p. 5、p. 6>

- ・今(今後1年程度)の住宅の買い時意識は、「買い時だと思う」が41.4%(前回調査 40.9%)、「買い時だと思わない」が20.3%(同 18.7%)
- ・買い時だと思う理由は、「住宅ローン金利が低水準だから」が69.1%(同 76.2%)と最も多く、次いで「消費税率引上げ前だから」が59.6%(同 49.0%)